綾瀬発・釜石応援プロジェクト2015

本会では、東日本大震災の被災地である岩手県釜石市を応援するため、平成２３年度２回の「ボランティアバスパック」を実施。平成２４年度「綾瀬発・釜石応援プロジェクト」を立ち上げ、平成２６年度までに１０回の支援を実施、今年度は２回の支援活動を実施してまいりました。

このプロジェクトは、社協の持つネットワークを生かし、賛同いただける市内の団体にお集まりいただき、企画から実施までを一緒に行うものです。

また、市内の事業所の皆様にも御協力をいただき、食材等の御提供をいただきました。

今年度の活動は現地の方々との交流を通して「私たちはあなた方のことを忘れていません」というメッセージを送り続けていくために、３回目となる天神町仮設団地における「第３回釜石＆綾瀬夏の交流祭り」と上中島復興公営住宅における新たな住民交流の場を提供するため「上中島住民交流会」を釜石市社協と共催で実施しました。

プロジェクトメンバー（順不同・敬称略）

綾瀬青年会議所　綾瀬アカデミー　綾瀬市商工会青年部　ブタッコリ～推進委員会
あやせ災害ボランティアネットワーク　市民活動センターあやせ
（株）タウンニュース社綾瀬編集室

食材等提供（順不同・敬称略）

（第１期協力）
秋本食品（株）　エムケーチーズ（株）　綾瀬市地場農産物消費拡大推進協議会
（株）伊藤園　東京キリンビバレッジサービス（株）　大和営業所（株）ラテン大和
ファイアート神奈川（有）青柳商店
（第２期）
秋本食品（株）　エムケーチーズ（株）（株）伊藤園　東京キリンビバレッジサービス（株）

協力機関（順不同・敬称略）

釜石市天神町仮設団地自治会・釜石市天神町仮設団地商店街・釜石市社会福祉協議会

第１期　平成２７年7月２４日（金）～２６日（日）　参加者４４名

第３回　釜石＆綾瀬夏の交流祭り＆三陸鉄道ツアー

昨年全面復旧した三陸鉄道南リアス線を今年も貸し切り、沿岸部の視察を行いました。

そして、三年目になる天神町仮設団地での「第３回釜石市＆綾瀬夏の交流祭り」を開催。キッズダンス「いがったんたら」のウェルカムダンス、バーベキュー、縁日、高座スイカの配布、アーティスト DAN さんのライブ、花火など本当に楽しいひと時を過ごしました。

「今年もありがとう！」という一言に、続けてきて良かったと思います。

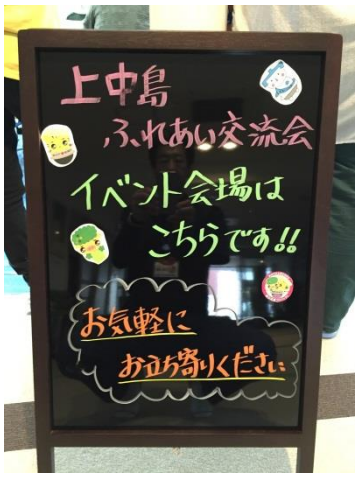
第２期　平成２７年９月２５日（金）～２７日（日）　参加者２４名

上中島ふれあい交流会

釜石で最初に建設された上中島復興公営住宅には市内の各地から被災者が入居されてきましたが、上の階に住む人の顔もわからない状態で今日まで過ごされてきたそうです。

今回のふれあい交流会は、住民相互の顔の見える関係を作る初めての試みで、釜石市社協と協働により開催しました。

当日は、釜石で生まれたクリームシチューうどんに高座豚のウインナー、綿菓子などの販売、ブタッコリ～によるじゃんけん大会を開催し、たいへんみなさんに喜んでいただきました。



東日本大震災から４年半以上が経ちました。
綾瀬市社協では、震災直後に行ったボランティアバスパックを含め、今年度で１４回の釜石訪問を行い、スタッフを含め述べ４７６名の方々に参加いただき、様々な支援活動を行ってきました。
東日本大震災の被災地に足を運ぶボランティアは年々減少しているとのことです。沿岸部はダンプカーが常に往来し、かさ上げの土が盛られ、目まぐるしく復興が進んでいるように見えます。
しかし、今回で３回目となる天神町仮設団地は、今でもたくさんの住民が生活している反面、流出する人もいて徐々に残された住民の焦りや不安を耳にすることがありました。また上中島復興公営住宅ではマンションのような綺麗な環境の中で、一からコミュニティを形成していく困難さや釜石市社協のご苦労を目の当たりにし、まだまだやるべきことがあることを実感しました。
住民の方々からいただく言葉は「来てくれてありがとう。忘れないでいてくれてありがとう」でした。「私たちは忘れられていくことが本当に怖い」と、毎回訪問時にお話をしていただく釜石市社協の矢浦元事務局長は、参加したボランティアに対して切実に訴えていたことがとても印象的でした。
がれきの撤去作業はなくても東日本大震災の被災地ではボランティアを求めています。私たちにはまだやるべきことがある。
がんばろう釜石！！

綾瀬市社会福祉協議会